

勝山創成案

～わてらの地方創生～

細野 齋藤 杉本

地方創生って？

今の勝山が
すき

自然、環境をそのままに

持続可能な社会を
構築すること！

【移住者の獲得】

そして

【しぜんを守る】 ことが必要

①なぜ移住者が必要？

勝山は過疎化・高齢化が進み、限界集落にも...

この勝山市の担い手を、現勝山市民だけでなく、

勝山に魅せられた移住者（様）にも頼みたい！！

だって純粋勝山市民って準絶滅危惧種やん（小声）

移住者の獲得のために

最低限度の設備の維持（公共施設、商業施設）

公的扶助制度の認知度の向上

働き方改革

移住者の受け入れ態勢を整える



改革を断行し町をよりよくし

移住者の獲得を！

働き方改革

- ▶ 男女間での仕事量の均等化
- ▶ 有給休暇の全消費
- ▶ 女性をもっと役職に登用する



余暇の創出
消費の増大
商業活動の活発化
QOL(クオリティーオブライフ)の向上

空き家の活用

勝山の空家数→**573軒**

これらを
移住者
インターン生
体験移住者

に提供

さらに！

インターンシップや移住者への公的支援

- ▶ 空き家の無料提供
- ▶ 空き家の修繕費の一部もしくは全額負担
- ▶ 空き家を使った体験移住プラン



②勝山の自然は素晴らしい

例) ・春夏秋冬がハッキリしていて、それぞれに特色がある



しぜんを守るために

- ▶ 勝山には専門家には分かる自然の趣があるので、勝山市民であれば、この魅力を再認識すべき
- ▶ **関心を持つこと** が、一番簡単な、そして有意義なこと
- ▶ 自然に関する研究を大学などと共に進め、SNSなどを用いて、発信をする。
- ▶ 保全活動、バイオームに合った植林

👉 **杉はダメ。絶対**

勝山市のとりべき政策

勝山の魅力について 触れられる宿泊体験



それらの対象となるのは・・・

都会の喧騒から逃れ、暮らしたい人たち

子供を健やかな環境、自然豊かな場所で育てたい人たち

四季折々の特別プラン (例：夏)

期間・・・4泊5日程度

里山の魅力を生かした自然体験

川遊び、釣り、キャンプ、自然観察
旬の食材を生かした郷土料理

鮎、あまご、おろしそば、ぼっかけ
夏祭り(季節のイベント)で市民と交流
移住者行政についての説明会

勝山の夏(四季)の魅力
をアピール



要は何が言いたいかって

①100年後も勝山の自然が変わらないように、不用意に都市開発

はしない。←金と自然の無駄

②自然が目当ての部外者を移住者として勝山に定住させる。

- 
- ・勝山の自然を再認識し、保全活動を進めていく
 - ・今のうちから移住者の受け入れ体制を整えておく
 - ・働き方改革などを進め、自然以外にも、「住みやすい」という 魅力を作り、移住者に魅せる。
 - ・人気**YouTube** とコラボして発信し、勢いをつける

究